



平成22年度 当初予算の概要

一般会計

89億2千万円

平成22年度のまちづくりがスタートしました。
町では限られた予算を有効に活用するため、様々な施策を盛り込んだ予算を編成しました。その概要についてお知らせします。

収入 INCOME



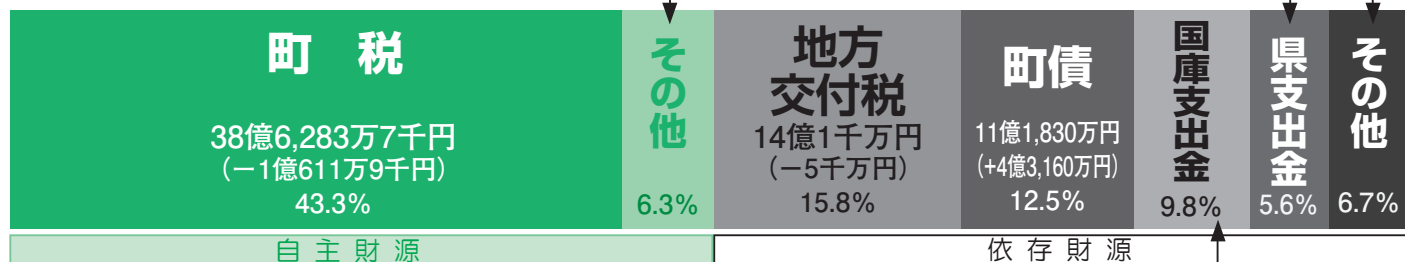
景気の悪化で町税は減少。子ども手当
での財源として国からの支出金が大幅
に増加。耐震工事、道路の整備・維持
に充てるため、町債も増加傾向。

◎その他…5億6,338万4千円（-1億1,775万5千円）

- 分担金及び負担金 1億3,677万9千円
- 繰入金 1億1,349万5千円
- 繰越金 1億5千円
- 使用料及び手数料 5,657万5千円
- 財産収入 2,611万4千円
- 寄付金 2千円 ■諸収入 8,041万9千円

◎県支出金…4億9,965万7千円（+7,988万9千円）

◎その他…5億8,750万円（-150万円）



◎国庫支出金…8億7,832万2千円（+4億1,688万5千円）

用語解説

一般会計

町の会計の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費です。これに対して、特定の事業を行う特別会計があります。

地方交付税

所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合の額を、国が各地方公共団体に人口、面積、財政力などに応じて交付します。使い道は、各団体が自由に決められます。

町債

町が銀行などから借りているお金です。原則として、道路や学校などの公共施設の整備資金に充てるものです。

国庫支出金・県支出金

町で行う事業に対して国や県から交付されるお金です。使い道が決まっています。

民生費

子どもや高齢者、障害者の福祉や医療助成などの経費です。

当初予算の概要 平成22年度



平成22年度の予算は？

平成22年度の予算は、前年度より約7.9パーセント、6億5,300万円増加しました。

町の収入は、町税など町が自ら確保することができる自主財源と、地方交付税や国・県の支出金など、ほ

かの財源に頼る依存財源に分けられます。平成22年度は、収入全体の約半分が依存財源です。

依存財源のうち、主に子ども手当での財源として、国庫支出金が4億1,688万5千円増加しました。また、耐震工事や道路の整備・維持な

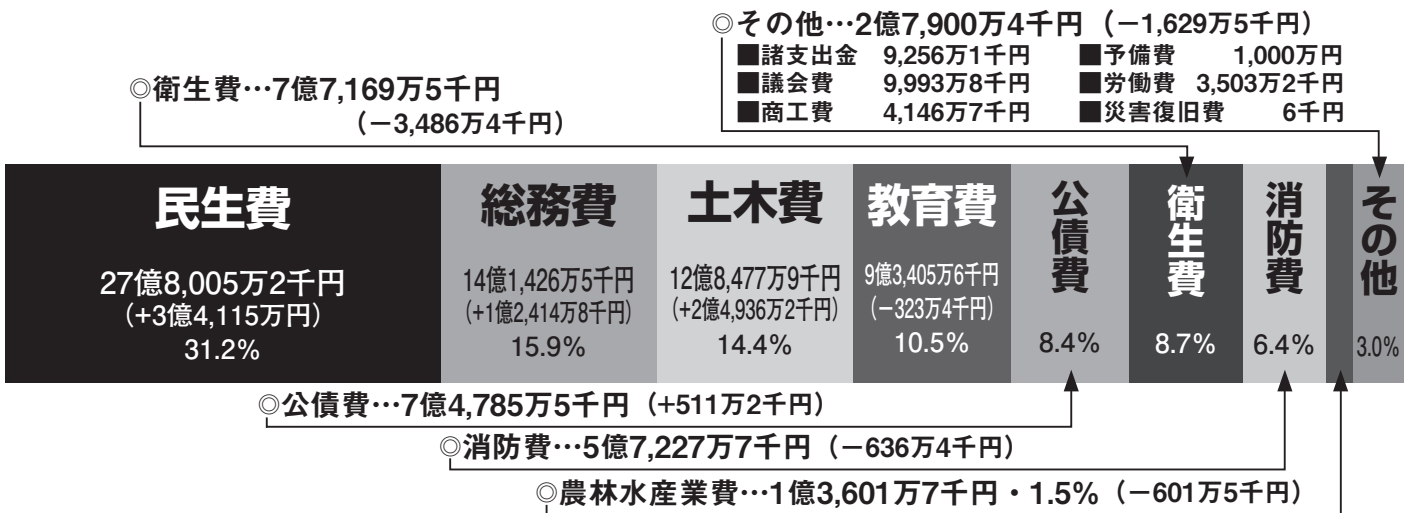
どを行うために11億1,830万円の町債を発行します。

歳出では、子ども手当を含む民生費が14パーセント、庁舎の耐震工事などを予定している総務費が9.6パーセント、土木費が24.1パーセント増加しました。

支出 EXPENDITURE



学校や役場庁舎の耐震化が順次進行。飯能寄居線バイパスの建設、長瀬駅前野久保線、武州長瀬駅北口の整備も進み、新しい町の形が見えてきた。



町民1人あたりに使われるお金は 合計 **24万2,530円**です

消防費 15,560円	教育費 25,396円	民生費 75,588円
農林水産業費 3,698円	衛生費 20,982円	総務費 38,453円
その他 7,587円	公債費 20,334円	土木費 34,932円

平成22年4月1日現在の人口3万6,779人で算出

公債費
町債の返済金です。

土木費
道路、公園などの建設、整備、維持管理のための経費です。

総務費
税務事務や住民窓口、選挙などに係る経費です。



平成22年度は このような事業にお金を使います

自然と共生した安全で快適なまちづくり

自然と都市が調和した安全で快適なまちづくりを目指して、道路、公園、交通環境などの整備を推進し、美しい景観を創造します。また、防災対策の充実をはじめとして、防犯活動や交通安全活動などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援します。

【主な事業】

- ・埼玉西部環境保全組合負担金 4億359万8千円
- ・農道・用排水路整備事業 2,850万円
- ・長瀬駅前野久保線整備事業 4億3,810万5千円
- ・町道の維持・新設改良事業 2億2,575万円
- ・庁舎耐震補強工事 1億5,750万円

元気に仕事ができるまちづくり

農林業、観光、商工業の振興支援や、住民などが取り組む起業活動を支援します。

【主な事業】

- ・マスコットキャラクター作成 214万2千円
- ・雇用対策賃金 500万円
- ・商工会補助金 754万円
- ・産業まつり補助金 310万円
- ・街路灯設置事業費補助金 120万円
- ・サマーフェスティバル補助金 155万円

学びを未来に活かすまちづくり

住民が町の文化を自ら創り上げるといった気風が育まれるよう、生涯学習活動を支援します。また、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進します。

【主な事業】

- ・私立幼稚園就園奨励費補助金 3,518万1千円
- ・生徒指導・教科指導支援員事業 3,419万円
- ・標準学力検査委託料 210万1千円
- ・やぶさめサミット開催 785万7千円
- ・就学援助金 1,923万9千円
- ・小中学校パソコン機器借上料 2,436万円
- ・英語指導委託料 688万5千円
- ・新毛呂山町史作成 608万円

住民と行政の協働によるまちづくり

全ての住民がまちづくりに取り組めるよう、正確な情報を発信し、さまざまな住民活動を支援します。また、簡素で効率的な行財政運営を目指します。

【主な事業】

- ・町内循環バス運行事業 1,272万4千円
- ・コミュニティ施設特別整備事業補助金 935万8千円
- ・広報等印刷事業 627万2千円
- ・区運営費補助金 451万5千円
- ・集会所用地借地料補助金 185万1千円
- ・コミュニティ協議会補助金 181万円

健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細かな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援します。

【主な事業】

- ・自立支援医療給付費 3,194万2千円
- ・介護・訓練等給付費 2億764万7千円
- ・こども医療費 6,334万4千円
- ・民間保育所委託料 2億4,064万円
- ・子ども手当・児童手当 5億8,095万円
- ・重度心身障害者医療費 6,741万6千円
- ・各種検診・予防接種委託料 7,814万5千円





国民健康保険特別会計

…42億5,500万円

医療保険制度の基礎的役割を果たしています。いざというときに安心して医療を受けられるようにするために使われる予算です。



後期高齢者医療特別会計

…2億5,822万9千円

高齢者が安心して医療が受けられるように制度の維持、運営に使われます。



老人保健特別会計

…545万7千円

この予算は、後期高齢者医療制度への移行前に利用者が受診した診療費を医療機関に支払うために使われます。



介護保険特別会計

…15億5,028万円

介護を必要とする人や介護予防が必要な人が、安心して生活を送れるように、総合的な介護サービスを行うために使われる予算です。



農業集落排水事業特別会計

…2,864万円

農村地域の生活向上を図るために、汚水の処理を行います。現在は主要な処理施設の建設が終了し、施設維持管理費用が中心となっています。



水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安全供給するための予算です。

今年は、苦林浄水場において浄水施設の設置工事および老朽管の布設替などを積極的に行います。



【水道事業収益】
水道料金など
予 算 額／7億8,506万7千円
前年度比／2.0%の減額

【水道事業費用】
水道施設維持管理、県水受水費など
予 算 額／7億5,467万6千円
前年度比／3.3%の減額

【資本的収入】
国庫補助金など
予 算 額／2億285万5千円
前年度比／1,755.1%の増額

【資本的支出】
配水施設整備など
予 算 額／7億7,180万1千円
前年度比／96.5%の増額

特別会計

町には、一般会計のほかにも、5つの特別会計と企業会計
である水道事業会計があります。
特別会計や企業会計は、特定の事業を行うための予算で
す。保険料や使用料などの特定の収入でまかなわれ、一
般会計とは独立した経理会計が行われています。